

# 猛暑の中、大活躍の東中生！



## 東海中新聞

NO. 390

令和6年8月号



男子陸上部の

さんは、全国大会に出場しました。男子100m記録11秒11。

### 防災意識を高め、主体的に行動、できる生徒に

校務主任

「不審者役の人が教室に入ってきたとき、訓練だと分かっていたけれど、とてもびっくりしました」「一人で歩いているときに不審者を見かけたら、大声で助けを求めたり、人通りの多い道へ走って逃げたりしようと思いません」これは、六月に行われた不審者侵入訓練後の生徒の感想です。

昨年度の保護者用学校教育アンケート項目「防災教育に力を入れている」では、「よく当てはまる」と「やや当てはまる」の合計回答率が七割程度と低かったことを鑑み、避難訓練の実施方法や回数について再考しました。そこで、本年度は、火災や地震を想定した避難訓練だけではなく、不審者が校内に侵入したときの対応について、生徒と教職員が学ぶ機会を設けました。

また、職員室前廊下に掲示してある岡崎市の土砂災害ハザードマップを見ると、本学区内は、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域に指定されている場所がいくつもあることが分かります。山に囲まれた自然豊かな東海学区ですが、大雨等により、急傾斜地が

崩壊したり、土砂が流れ出したりする可能性があります。特に注目すべき点は、学校の西側の斜面が、土石流の危険性がある土砂災害警戒区域となっていることです。そこで、九月には土砂災害の恐れがある設定で、避難訓練を行います。一学期は学級担任の引率による避難でしたが、教科担任による引率と、今までは異なる形態で行う予定です。四回目となる三学期の避難訓練は、休み時間など生徒が自由に行動する時間に設定します。どこにいても、自分の身を守る場所を瞬時に見つけ、その後、指示した場所に落ち着いて避難することを目標とします。このことにより、生徒自身が状況を適切に判断し、主体的に行動できる力を身に付けていきたいと考えています。

先日、山中小学校の体育館脇で「ファーストミッションボックス」を見つけてきました。市政だより等で紹介されているように、大規模な地震災害時に、住民主体で避難所を開設するための手順書や資器材が入っています。このボックスのポイントは、「自助」「互助」だそうです。また、十月二十七日には、岡崎市地域総合防災訓練があり、学区内の四小学校は住民参加の訓練会場となっていると聞いています。中学生も積極的に参加することで、防災への意識をより一層高め、いざという時に主体的に行動してほしいと思います。

# 東海中PTAだより

東海中PTA  
海報委員  
広報225号  
第225号

## 市長杯観戦記

### がんばった市長杯

女子バスケットボール部保護者

試合開始前、円陣を組み、大きな声が会場に響きました。卒業した先輩や部の後輩たちが陣取った応援席にも気合いが入りました。

いいところまで攻めても、なかなかシュートに結びつかない。そんな中、ゴールに向かって放ったシュートが見事ゴール。

中盤になり、少し疲れが見えてきても、本日最大の声援に押され、その瞬間にシュートが決まりました。ボールの主導権を握るたびに、「サイコー!!」の声。フリースローが決まり、その後もすかさず追加点。ベンチと応援席から、一致団結した声援が同時に飛び、選手を後押ししました。

終了間際に気迫の追加点を決めるも、残念ながら敗退してしまいました。三年生最後の試合を終えた充実感が伝わる試合となりました。一・二年生の今後の活躍を期待しています。



## 暑い夏の大会

女子陸上部保護者

熱中症予防対策で開始時刻が前倒しになり、学校集合時間は、五時十五分。それでも暑くなりすぎたら一旦中断し、気温が下がってから再開すると聞いて、どうなることかと思っていた大会でしたが、無事に予定通り行うことができました。



龍北陸上競技場のスタンドには暑い中にもかかわらず、親御さんの応援でいっぱいでした。子どもたちは今までの成果を結果に残そうとして、輝いてやり切った顔。自分の子どもが走っていないなくても、そんな姿を見て胸が熱くなりました。心に残る素晴らしい大会ができましたことに感謝です。

素敵な仲間、先生方に恵まれて最後まで陸上部を楽しむ姿を応援できて幸せでした。

ありがとうございます。

## 「PTA講演会を聴いて」

二年生保護者

PTA役員になると子育てに関する講演を聴く機会が多く与えられます。そのなかでも私の心に深く刺さった内容を今回紹介させていただきます。

「親御さんご自身の理想がいつのまにか、お子さんへの要望に置き換わっていませんか？」例えば「英語を話せる人間になった方が絶対に良い」とアドバイスし、幼い頃から英語塾に通わせるものの、実はそれ、親御さんご自身が「英語を話せる技術を身に付けたい」と思っていて、その思いを我が子にぶつけているだけではありませんか。

それを聞いた瞬間すぐに「あ、それ私の事だ」と気付きました。我が子の将来の為だと思い込み、それが正義だと振りかざす様子は、滑稽にも思えてきました。

我が子の幸せを願わない親は居ないはずですが、一歩間違えれば自身のエゴの押しつけにも成る可能性があるということを思い知らされました。

『過保護』『過干渉』『無関心』これら相互の線引きは非常に難しいところではありますが、そこが子育ての興味深い(面白い)ところであるとポジティブに捉え、これからの子育てに役立てていきたいと思えます。

## 本宿学区紹介

本宿学区には、幼少期の徳川家康(竹千代)が読み書きを習った由緒あるお寺、「法蔵寺」があります。江戸時代には、東海道沿いのこの寺の前を馬に乗って通る旅人は必ず下馬しなければならなかったと言われています。法蔵寺は松平家の菩提寺でもあり、境内には竹千代草紙かけ松や手習いの硯井戸など、家康ゆかりの品々が残されています。また、新選組局長の近藤勇の首塚も祀られております。

歴史的な背景を感じながら、ぜひ一度訪れてみてください。



【法蔵寺】



【近藤勇の首塚】

# 各種大会・コンクール結果

## 〔愛知県アーチェリー協会卯月杯〕

◆アーチェリー部

優勝 30/18m部門

第二位 30/18m部門

第三位 30/18m部門

## 〔ALLJAPANアーチェリーFES2024〕

◆アーチェリー部 中学女子

優勝 30/18m部門

第二位 30/18m部門

第三位 30/18m部門

◆アーチェリー部 中学男子

第二位 30/18m部門

第三位 30/18m部門

## 〔愛知県アーチェリー協会水無月杯〕

◆アーチェリー部

優勝 18m部門

## 〔岡崎中学校市長杯総合体育大会〕

団体の部

◆野球部

対幸田南中 一―五 惜敗

◆男子バレーボール部

対岡崎北中 〇―二 惜敗

◆女子バレーボール部

対福岡中 二―一 勝利

対竜南中 二―〇 勝利

対翔南中 〇―二 惜敗

対矢作中 一―二 惜敗

第三位 西三大会出場決定

◆男子バスケットボール部

対幸田北中 二八―三七 惜敗

◆女子バスケットボール部

対竜南中 二六―五一 惜敗

◆卓球部

対六ツ美北中 〇―三 惜敗

対矢作北中 〇―三 惜敗

対幸田中 〇―三 惜敗

対六ツ美中 〇―三 惜敗

◆ソフトテニス部

対竜南中 二―一 勝利

対甲山中 一―二 惜敗

◆男子剣道部

対六ツ美北中 〇―四 惜敗

対幸田南中 〇―四 惜敗

対矢作北中 一―三 惜敗

◆女子剣道部

対額田中 一―二 惜敗

対甲山中 二―二 勝利

※本数差で勝利

対竜海中 〇―二 惜敗

〔九位決定トーナメント〕

対幸田中 二―一 勝利

対幸田南中 二―三 惜敗

個人の部

◆男子陸上部

優勝&大会新記録 一〇〇m

◆男子水泳

優勝&大会新記録 四〇〇m自由形

第二位 二〇〇m個人メドレー

◆ソフトテニス部 西三大会出場決定

ベスト8

西三大会出場決定

〔西三河中学校選手権大会〕

団体の部

◆女子バレーボール部

対崇化館中 二―〇 勝利

対安城北中 〇―二 惜敗

個人の部

◆男子水泳

第三位 二〇〇m個人メドレー

第二位 四〇〇m自由形

◆ソフトテニス部 県大会出場決定

ベスト8

◆男子陸上部 県大会出場決定

優勝 三年一〇〇m 県大会出場決定

第七位 走高跳 県大会出場決定

〔全日本中学校通信陸上競技大会西三河予選会〕

優勝 男子 二〇〇m

優勝 三年 一〇〇m

〔全日本中学校通信陸上競技愛知県大会〕

優勝&大会新記録 二〇〇m

全日本中学校陸上競技選手権出場権獲得

第五位 男子一〇〇m

〔愛知県中学校陸上総合体育大会〕

◆ソフトテニス部

ベスト32

◆男子水泳

第二位 一五〇〇m自由形 東海大会出場決定

◆男子陸上部

第三位 一〇〇m 東海大会出場決定

〔東海中学校陸上総合体育大会〕

◆男子陸上部 決勝

第四位 一〇〇m

全日本中学校陸上競技選手権出場権獲得

◆男子水泳

第五位 一五〇〇m自由形

〔全日本中学校陸上競技選手権大会〕

◆男子陸上部 予選

出場 一〇〇m

〔中部日本吹奏楽コンクール 西三河北ブロック大会〕

金賞 吹奏楽部 県大会出場決定

〔愛知県吹奏楽コンクール 西三河北地区大会〕

金賞 吹奏楽部

〔中部日本吹奏楽コンクール 愛知県大会〕

銀賞 吹奏楽部

〔愛知県野生生物保護実績発表大会〕

愛知県獣医師会賞

発表テーマ 「未来へつなぐ糧」

〔希少生物と共に生きる地域の未来〕 自然科学部

# 大会を終えて

## 悔しさが残る全国大会

男子陸上部

八月十九日に全国大会が福井県で行われました。私は、男子百メートルに出場しました。前日と当日のアップでは、今までで一番いい感覚で、本当に優勝が狙えると思いました。

でも、いざ予選を走ってみると、スタートから出遅れ、自分の思うような走りができませんでした。結果は、予選落ち。友達や先生、家族からの励ましから、思わず涙が出てきました。この悔しさとみんなからもらった励ましと応援を忘れず、また一から陸上を頑張ろうと思います。本当に応援、ありがとうございました。



## 東海大会を終えて

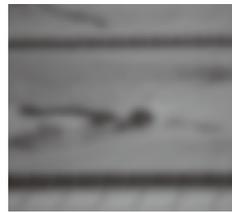
男子水泳

「中学二年生で東海大会出場！」

これは、私が中学校に入学したときの目標でした。

大会当日は、静岡県の代表選手と競り合い、途中苦しい場面もありましたが、最後まで全力で泳ぎ切ることができました。結果、東海大会入賞を勝ち取ることができました。

これも応援して下さった先生方をはじめ、友人、家族のおかげです。来年は全国大会を目指して頑張ります。



## 発表に参加して

自然科学部部長

私達自然科学部は、愛知県野生生物保護実績発表大会に参加し、日ごろの活動の成果を専門家の方々の前で発表する貴重な経験をしました。大会当日まで毎日、全員で発表練習を続けました。自分たちで改善点を話し合いながら、納得できる発表になるように努力をしました。

発表大会の経験を活かし、今後もカワバタモロコたちを守りながら、さらに地域の自然環境を守る活動に励んでいきます。



# 不審者侵入訓練

六月二十日、不審者侵入避難訓練を行いました。岡崎警察署の警察官、岡崎市防犯交通安全課の方に来ていただき、不審者に遭遇したとき、自分の身を守るためにはどう行動すべきかを教えていただきました。また、教職員に対しては、生徒が安全に避難するための方法や不審者への対応の仕方について教えていただきました。



# 教育講演会

六月二十六日、いのちをバトンタッチする会代表の鈴木中人さんをお招きし、「いのちの授業」いのちのバトンタッチ」をテーマに講演していただきました。ご自身の体験をもとに、命の尊さについて熱い思いを語っていただきました。話を聞きながら、涙を流す生徒もおり、命について考える大切な時間となりました。



# やまなみ

教育随想

## 一人一人の物語

体育主任

八月十二日、パリオリンピックが閉幕した。選手たちは、全力プレーと最後まで諦めない姿勢で、私たちに感動を与えてくれた。テレビで観る試合の姿は、数時間、数分だが、その一瞬に彼らのこれまでの努力がすべて詰まっていると思うと、胸が熱くなる。

先日全国大会をもって、東海中生の夏が終わった。上位の大会・コンクールに進んだ生徒もいれば、市内大会の一回戦で敗退した生徒もいる。だが、その一人一人に語りつくせぬ物語がある。ドキドキワクワクしながら入部した日。先輩の背中を追って、がむしゃらに走ったあの日。何度練習しても、うまくいかずに投げ出したくなった日。すべてを乗り越えて、最後の試合やコンクールの舞台上立つ生徒たちは、私にとってはヒーローであり、どの生徒もたくましく見えた。そして、その結果の栄光も、悔し涙も、すべてが美しく輝いていた。

今日も、運動場や体育館、校舎内には生徒の声が響いている。一人一人の物語のページに、今日という日も刻まれていく。生徒たちは、今日も私に教えてくれる。一生懸命頑張ることがどれほど素敵であるかということ。